Gunma Prefecture
群馬県

令和８年１１月１３日
県土整備部 道路管理課
交通安全対策室 江部・田島
電話:027-226-3600内線:3602

自動車販売店と初連携！ドライバーに自転車事故防止を呼びかけます
～交通安全啓発キャラバン隊による新たな官民協働の取組～

群馬県では、自転車と自動車の交通事故を減らすため、交通安全啓発キャラバン隊による自動車ドライバーへの街頭における交通安全啓発に取り組んでいます。
今回、交通安全啓発キャラバン隊として初めて、自動車販売店の富士スバル株式会社と連携し、ドライバーに自転車事故防止を呼びかける啓発活動を実施します。富士スバル株式会社の従業員も街頭啓発に参加し、ドライバーへ安全運転を呼びかけます。
県では、自動車販売店との新たな連携を通じて交通安全意識の向上を図るとともに、今後も民間企業等との協働による交通事故防止の取組を推進してまいります。

1 実施日時
令和8年11月18日（水） 午後3時00分から午後4時00分まで

2 実施場所及び参加者
⑴ 実施場所
高崎市緑町地内 （国道17号・緑町信号交差点付近の路上において実施）
⑵ 参加者
群馬県（道路管理課、交通安全啓発キャラバン隊）、高崎警察署
富士スバル株式会社、三井住友海上火災保険株式会社 合計：14名

3 参加企業
富士スバル株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

4 実施内容
令和7年中の県内における自転車が関係する人身事故を分析すると、相手方の約9割が自動車であり、そのうち約6割が交差点における出会い頭事故でした。このように、自転車事故の多くは交差点で発生していることから、停止線手前における確実な一時停止や、交差点での安全確認の徹底が重要となっています。
このため県では、自転車利用者に対する交通安全啓発に加え、自動車ドライバーに対しても「停止線でとまりましょう！」、「事故多発！注意！」等のメッセージを記載したプラカードを活用し、一時停止の徹底や交差点での確実な安全確認の実施を呼びかけています。今回は、富士スバル株式会社及び三井住友海上火災保険株式会社、高崎警察署と連携し、交通事故の多い緑町信号交差点付近においてドライバーに対する街頭啓発を行います。自動車販売店との連携により、ドライバーへの交通安全意識の向上を図り、自転車と自動車の交通事故防止につなげていきます。



啓発イメージ





啓発プラカードの一例

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナーシップで目標を達成しよう